

# 令和3年度 大分県いじめ問題子どもサミット

別府ビーコンプラザ

令和3年11月4日(木)

県内の小学生、中学生の代表が、いじめのない学校づくりに向けた取組を発表し合い、いじめの問題について意見交流をしました。竹田管内からは、竹田市立南部小学校と竹田市立竹田南部中学校から代表(各3名)が参加しました。

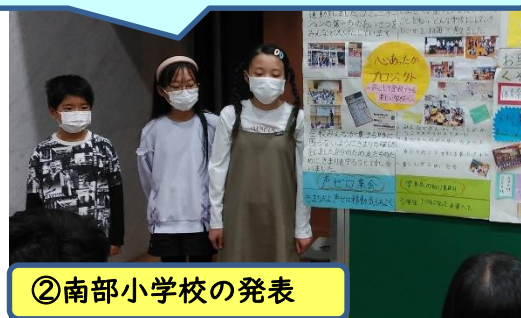
- ポスターセッション(90分)「いじめをなくすために校内で取り組んだこと」(各校発表4分、質問4分、感想・まとめ2分)
- グループ協議(40分)「いじめを見逃さないために私たちができることは何か」

代表12校が、A組とB組に分かれてのポスターセッション。各校の代表があいさつ運動や縦割り班活動、人権宣言等の取組を紹介し、質問や感想を出し合いました。



①ポスターセッション

「心あったかプロジェクト」をテーマにあいさつ運動やなかよし班活動、がんばったねカード等の取組を紹介しました。



②南部小学校の発表

「お互いが居心地のよい学校にするためには」をテーマに仲間づくり活動(人間関係づくりプログラム)や人権週間、体育祭等の取組を紹介しました。



③竹田南部中学校の発表



④南部小学校・竹田南部中学校の取組

## ⑤グループ協議



6人グループ(小学生3人、中学生3人)で、いじめをなくすために「大分県の全小学生・中学生に伝えたいこと、広めたいことは何か」について話し合いました。

## 【グループ協議で出された意見】

〈どんな学校にしたいか〉

- ・1人1人が楽しく過ごせる
- ・クラス、全校が、優しい雰囲気
- ・本音が出せる
- ・いじめのSOSを見逃さない

〈大切なこと〉

- ・1人1人が声をかけ合う
- ・交流や活動で人間関係を深める
- ・悩みをきく
- ・積極的に話しかける
- ・全校であいさつ運動をすすめる
- ・いじめがどんなものか明確にする